

## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月5日  
上場取引所 東

上場会社名 コムシスホールディングス株式会社  
 コード番号 1721 URL <https://www.comsys-hd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名)加賀谷 卓  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名)尾崎 秀彦 TEL 03-3448-7000  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	107,466	△10.6	3,560	△57.3	4,252	△52.8	2,692	△54.6
2022年3月期第1四半期	120,190	14.8	8,342	129.3	9,003	115.3	5,926	105.0

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 3,114百万円 (△45.0%) 2022年3月期第1四半期 5,660百万円 (62.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	22.03	22.01
2022年3月期第1四半期	47.40	47.29

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	471,540	338,764	70.7
2022年3月期	524,062	343,489	64.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 333,570百万円 2022年3月期 338,031百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	45.00	—	50.00	95.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	50.00	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	590,000	0.2	40,000	△6.9	40,500	△8.0	27,000	△7.6	220.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動): 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用: 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	141,000,000株	2022年3月期	141,000,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	19,176,718株	2022年3月期	18,575,585株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	122,252,310株	2022年3月期1Q	125,034,674株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあります。感染状況や変異株の発生動向に注意しながら、社会経済活動が正常化に向かう中、景気の持ち直しが期待されておりますが、ウクライナ情勢の長期化など地政学リスクからの原材料価格高騰、各種部材不足など供給面での制約、また、金融資本市場の変動等に引き続き注視する必要があります。

コムシスグループを取り巻く事業環境につきましては、通信インフラ分野においては、デジタル田園都市国家構想の実現に向けた基盤整備として、超高速・大容量の5G及び光ファイバネットワークの整備拡大が進められております。社会インフラ分野においては、激甚化・頻発化する大規模自然災害に対応した防災・減災、国土強靱化施策の更なる推進、再生可能エネルギーの主力電源化をはじめとするカーボンニュートラル実現に向けた国内投資の拡大が期待されております。ITソリューション分野においては、社会全体のDX進展の中、デジタル社会の実現において不可欠なデータ基盤強化を図るため、AI・IoT・クラウド等ICT関連への投資拡大のほか、行政・医療・教育・防災などに係るデータ・プラットフォームの早期整備が求められております。

コムシスグループといたしましては、通信インフラ分野においては、高度無線環境整備推進事業等大型プロジェクトが減少するなど厳しい事業環境の中で、共通ITプラットフォームを活用した業務効率化及び業務運営体制の見直しなど生産性向上を図ってまいりました。また、ITソリューション・社会システムの成長分野においては、工事部材等の供給遅延などにより、工事進捗や受注活動にマイナスの影響が出ておりますが、バーチャルカンパニーを活用したグループ全体での営業連携強化による受注拡大、M&Aによる事業領域拡大（株式会社ワールドエコ2022年5月契約締結、7月1日子会社化）に取り組んでまいりました。今後とも、事業環境に応じたフォーメーション最適化、DXを活用した構造改革、多様な働き方に対応した働き方改革の深化など引き続き経営基盤強化に取り組んでまいります。また、「サステナビリティ基本方針」（2022年5月決定）に則りSDGsの目指す社会の実現に貢献するとともに、コムシスグループの持続的成長を図ってまいります。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間につきましては、前期の大型プロジェクトの反動減もあり、受注高135,122百万円（前年同期比1.8%減）、売上高107,466百万円（前年同期比10.6%減）となりました。また、損益につきましては、営業利益3,560百万円（前年同期比57.3%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益2,692百万円（前年同期比54.6%減）となりました。

【グループ別の受注高・売上高・セグメント利益又は損失〔営業利益又は損失〕】

(単位：百万円)

報告セグメント	受注高		売上高		セグメント利益 又は損失(△) 〔営業利益又は損失(△)〕	
	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率
日本コムシスグループ	58,127	△6.3%	45,530	△21.1%	307	△92.9%
サンワコムシス エンジニアリンググループ	15,116	9.0%	13,653	12.9%	1,215	3.0%
TOSYSグループ	9,878	44.2%	6,376	△4.8%	89	△74.1%
つうけんグループ	16,510	4.8%	11,339	0.3%	641	△11.9%
NDSグループ	20,853	△11.2%	18,245	△0.3%	916	14.0%
SYSKENグループ	7,148	5.3%	5,688	△20.7%	△118	—
北陸電話工事グループ	3,698	△20.1%	3,475	△4.1%	△39	—
コムシス情報システムグループ	3,301	△9.8%	2,670	△3.9%	288	△27.7%

(注) 「受注高」及び「売上高」は外部顧客への取引高を記載しております。なお、「セグメント利益」は当社及びセグメント間取引により生じた利益を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形・完成工事未収入金等が減少したことなどにより前連結会計年度末に比べ52,522百万円減少し471,540百万円、負債は、支払手形・工事未払金等が減少したことなどにより前連結会計年度末に比べ47,797百万円減少し132,776百万円となっております。

また、純資産は、自己株式の取得等により前連結会計年度末に比べ4,725百万円減少し、338,764百万円となりました。

この結果、自己資本比率は70.7%（前連結会計年度末は64.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期連結業績予想につきましては、2022年5月12日に発表いたしました業績予想から変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	35,107	45,422
受取手形・完成工事未収入金等	222,954	142,632
未成工事支出金等	46,027	59,635
その他の棚卸資産	5,544	5,988
その他	12,692	17,383
貸倒引当金	△109	△96
流動資産合計	322,216	270,965
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	45,338	44,923
土地	70,714	70,357
その他（純額）	29,329	28,670
有形固定資産合計	145,382	143,952
無形固定資産		
のれん	2,261	2,467
その他	5,587	5,440
無形固定資産合計	7,848	7,907
投資その他の資産		
投資有価証券	22,890	23,201
その他	26,135	25,924
貸倒引当金	△411	△411
投資その他の資産合計	48,615	48,714
固定資産合計	201,846	200,574
資産合計	524,062	471,540

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	87,514	58,304
短期借入金	31,845	4,734
未払法人税等	4,967	1,493
未成工事受入金	11,585	17,959
引当金	2,757	3,135
その他	20,093	25,580
流動負債合計	158,764	111,208
固定負債		
長期借入金	486	329
再評価に係る繰延税金負債	1,213	1,213
退職給付に係る負債	14,200	14,179
役員退職慰労引当金	628	519
環境対策引当金	400	400
その他	4,880	4,926
固定負債合計	21,809	21,567
負債合計	180,573	132,776
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	92,700	92,702
利益剰余金	279,157	275,729
自己株式	△40,851	△42,340
株主資本合計	341,006	336,090
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,117	3,549
繰延ヘッジ損益	0	28
土地再評価差額金	△8,250	△8,250
退職給付に係る調整累計額	2,157	2,151
その他の包括利益累計額合計	△2,975	△2,520
新株予約権	795	814
非支配株主持分	4,662	4,379
純資産合計	343,489	338,764
負債純資産合計	524,062	471,540

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	120,190	107,466
売上原価	103,011	94,678
売上総利益	17,178	12,788
販売費及び一般管理費	8,836	9,228
営業利益	8,342	3,560
営業外収益		
受取利息	6	5
受取配当金	564	532
固定資産賃貸料	71	77
その他	141	181
営業外収益合計	784	796
営業外費用		
支払利息	6	8
貸貸費用	38	31
新型コロナウイルス感染症関連費用	26	28
為替差損	25	—
その他	26	35
営業外費用合計	122	104
経常利益	9,003	4,252
特別利益		
投資有価証券売却益	199	18
固定資産売却益	1	10
関係会社株式売却益	—	218
その他	35	37
特別利益合計	237	285
特別損失		
固定資産除却損	29	15
事業構造改革費用	—	51
抱合せ株式消滅差損	55	—
特別退職金	3	40
その他	12	30
特別損失合計	100	137
税金等調整前四半期純利益	9,140	4,400
法人税等	3,196	1,737
四半期純利益	5,944	2,663
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	17	△29
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,926	2,692



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	5,944	2,663
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△340	428
繰延ヘッジ損益	△0	28
退職給付に係る調整額	56	△5
その他の包括利益合計	△284	451
四半期包括利益	5,660	3,114
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,639	3,147
非支配株主に係る四半期包括利益	20	△33

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結会計期間末における自己株式の残高は、前連結会計年度末より1,489百万円増加し、42,340百万円となっております。これらの主な要因は、以下のとおりであります。

自己株式の取得

当社は2022年5月12日開催の取締役会の決議に基づき、2022年5月13日から2022年6月30日までの期間に自己株式610千株を取得しております。この結果、当第1四半期連結累計期間において自己株式が1,509百万円増加しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて算定しております。